

## 自然放射線と人工放射線

### 自然放射線



10  
ブラジル  
ガラパゴス島の自然放射線(年間)

実効線量当量  
(ミリシーベルト)

10



宇宙から0.38

2.4  
(世界平均)  
1人当たりの  
自然放射線  
(年間)



大地から0.46

食物から0.24

空気中の  
ラドンから1.3



岐阜 ↔ 神奈川  
0.38  
国内自然放射線の差(年間)  
(県別平均値の差の最大)



東京～ニューヨーク  
航空機旅行(往復)  
(高度による宇宙線の増加)

0.19

実効線量当量  
(ミリシーベルト)

10

### 人工放射線



6.9  
胸部X線コンピュータ(1回)  
断層撮影検査(CTスキャン)

一般公衆の線量限度  
(年間)  
(医療は除く)



1.0

胃のX線集団検診  
(1回)



0.6

胸のX線集団検診  
(1回)



0.05

原子力発電所(軽水炉)周辺の  
線量目標値(年間)  
(実績ではこの目標値を  
大幅に下回っています)



(放射線医学総合研究所調べ等による)

(注1) 本図中の数値は

(i) 実効線量当量で記載されている。

(ii) 1993年版の国連放射線影響科学委員会報告に準拠している。

(注2) 自然放射線の量については、呼吸によるラドンの効果を含めた場合の値。